

令和5年度 モコ草薙保育園 園評価

保護者アンケートより

・年度末に実施した「園評価アンケート」の結果より、保護者からの園運営や保育内容への理解は十分に得られているものと感じる。乳児保育に特化した小規模園の特徴として、個々への寄り添いや年齢・発達に応じた遊びを保育の中で行う、生活習慣が身につくような援助等行っていることが、家庭での生活の中で垣間見えることが保護者にとっては子どもの成長を感じる瞬間であることが多くの保護者から伝わってくる。子どもの成長を促し、保護者にとっての良き相談役となり子育てをサポートをしていく…という園としての役割を果たすことが出来るよう、今後も保育・保護者支援を行っていききたい。

職員評価より

・保育士全員が横のつながりを大切にしたい保育を心掛けており、園としても大切にしたい部分と感じているため嬉しく思う。「保育を語り合う」という事に関しては午睡時間を利用し、振り返ることが習慣となり、翌日の保育（ねらい）に繋がりもみられる。

・「子どもが自分で選び、夢中で遊ぶことの出来る環境作り（主体性を育む）」にも取り組んだことで、現状を把握し今後の成長を促すためにどうするかを担任同士で考え、適宜変化をもたらすことも保育の中で多くみられた。

・子どもの家庭環境も視野に入れ保育をしているものの、心の成長だけでなく生活時間等、園だけでは対応できない事への悩みもある。仕事をしている、兄弟関係の都合等様々な理由はあるが、日中の様子を知らせつつ協力を得られる部分は伝えながら健やかな成長を促す努力をしていきたい。

園総合評価

・保育士同士の思いの発信が以前より増え、活気ある雰囲気の中で保育を行っている。保育中の配置も状況を見て動くことが出来るため、子ども同士の噛みつきやひっかきなどのトラブルはほとんどなく、安全面への配慮が意識出来ている。

・今年度、ドキュメンテーションを取り入れたことで多くの保育士がPCを使う機会が増えた。PC業務に関しては得意不得意がはっきり分かれている。保育の現場でもICTが普及しているため少しずつ慣れ、業務の効率化が図れるようになれば良いと思う。ドキュメンテーションの内容は保護者にも目に留まるよう掲示をしているため、子どもの成長に興味を持ち、お迎え時の保護者との対話のためのツールにも役立っている。また保育の理解へも繋がっている。子どもの育ちを感じる・保育士の気付きの感度を高める・保育の自己評価を行う等保育の質の向上にもなるため今後も続けていきたい。